

取締役会議事録（抄本）

2025年7月31日
ソフトバンクグループ株式会社

取締役会議事録（抄本）

2025年7月31日14時00分より、東京都港区海岸一丁目7番1号に所在する東京ポートシティ竹芝38階当社役員会議室において、取締役会を開催した。また、臨場で参加しなかった役員は、下記の場所から電話会議システムにて会議に出席した。

記

出席者 取締役9名中9名出席、監査役4名中4名出席

出席取締役 孫 正義取締役（U.S.A.）、後藤 芳光取締役、宮内 謙取締役（日本）、レネ・ハース取締役（U.S.A.）、飯島 彰己取締役（日本）、松尾 豊取締役（日本）、襟川 恵子取締役（日本）、ケン・シーゲル取締役（日本）、デビッド・チャオ取締役（日本）

出席監査役 遠山 篤監査役（U.S.A.）、中田 裕二監査役（日本）、西橋 久仁子監査役（日本）、金丸 祐子監査役（日本）

陪席者 省略

※電話会議システムにより出席した者の出席場所は、氏名の後の括弧内に記載

以上のとおり出席があったので、代表取締役 会長兼社長執行役員 孫 正義は定款および2025年6月27日付取締役会決議「株主総会および取締役会の招集者および議長の決定ならびにその代行順位および社長職務代行者決定の件」に基づいて議長となり、本取締役会が定足数を満たし、適法に成立している旨を告げ、開会を宣言した後、議案の審議に入った。

なお、議案の審議前に、電話会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認された。

<決議事項>

第1号議案から第2号議案まで
省略

第3号議案 円建てハイブリッド債の発行の件

(略) 取締役会規程別表Ⅰ－5－(3)に基づき、円建てハイブリッド債を発行することについて、下記のとおり承認を賜りたい旨を説明し、議長が本議案の可否を議場に諮ったところ、出席取締役全員異議なく承認可決した。

記

1. 以下「発行条件」により、円建てハイブリッド債（以下「本社債」）を発行すること。
2. 本社債の発行にあたり、起債環境の変化に対応するため、発行総額、発行日、利率および償還期日ならびにその他の発行条件の細目の決定およびその執行については、上記決議事項（1）の範囲内で、代表取締役 会長兼社長執行役員 孫 正義および取締役 専務執行役員 CFO 兼 CISO 兼 GCO 後藤 芳光に委任すること。
3. 上記取引に関して必要なあらゆる契約書、その他一切の書面または電磁的記録の作成・締結、署名または押印、交付その他一切の行為をなす権限を、上記決議事項（1）の範囲内で、代表取締役 会長兼社長執行役員 孫 正義および取締役 専務執行役員 CFO 兼 CISO 兼 GCO 後藤 芳光に一任すること。

発行条件

| | | |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 社債の種類 | 利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付） |
| 2 | 発行総額 | 2,000 億円以下。ただし、この範囲内で複数回の発行を妨げない。 |
| 3 | 発行日 | 2025 年 7 月 31 日から 2025 年 12 月 31 日までの日 |
| 4 | 利率 | 当初、5 年国債流通利回り+4.1% ^{※1} 以下（固定、年 2 回利払） 初回任意償還日以降、金利は変動（ベンチマーク金利 ^{※2} に、発行時スプレッドとステップアップ（最大 100bp）を加えた金利） |
| 5 | 各社債の金額 | 1 億円 |
| 6 | 払込金額 | 各社債の金額 100 円につき金 100 円 |
| 7 | 償還金額 | 各社債の金額 100 円につき金 100 円 |
| 8 | 法定満期 | 35 年 |
| 9 | 任意繰上償還 | 初回任意償還日および以降各利払日に可能（その他、税制事由もしくは資本性事由が生じた場合） ^{※3} |
| 10 | 初回任意償還日 | 発行日から 5 年後 |
| 11 | 担保および保証 | なし |
| 12 | 社債等振替法の適用 | 本決議に基づき発行する社債の全部について「社債、株式等の振替に関する法律」の適用を受けることとする。 |
| 13 | 劣後条項 ^{※4} | 一般債務および既存の劣後社債に対し劣後/弁済順位は優先株式および既存のハイブリッド債と同順位 ^{※4} |
| 14 | 利息の任意停止 ^{※3} | 当社の裁量による利息の停止・繰延べ可（累積） |

| | | |
|----|-----------------------|---------------------------------|
| 15 | 強制利払停止 ^{※3} | なし |
| 16 | 利息の強制支払 ^{※3} | なし。ただし、繰延利息の未払額を弁済すべく合理的な努力を行う。 |

※1 省略

※2 残存1年の国債利回りを予定。引受証券会社と協議の上決定。

※3 引受証券会社および格付機関との協議の結果、条件変更の可能性あり。

※4 「劣後社債」：無担保社債（劣後特約付）、「ハイブリッド債」：利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）

【別紙資料】

省略

第4号議案から第5号議案まで

省略

<報告事項>

省略

以上をもって、電話会議システムを用いた取締役会は終始異状なく議案の審議が終了したので、議長は14時35分閉会を宣言した。